

軒天施工要領

■ 軒天12、軒天14用通気部材 防耐火認定適用一覧

項目		軒天換気金物		軒天通気見切縁			
		KBM1J2(熱発泡材付き)	KBM1	KBM2N□□	KCM2N□□J2(熱発泡材付き)	KCM2N□□	BM3(※)
軒天	軒天12 トリスタ	—	—	30分準耐火仕様 QF030RS-0240	—	—	30分準耐火仕様 QF030RS-0348-1
	軒天12	30分準耐火仕様 QF030RS-0157	非防耐火仕様	30分準耐火仕様 QF030RS-0156	—	—	—
	軒天14	—	—	—	45分準耐火仕様 QF045RS-0053	非防耐火仕様	—

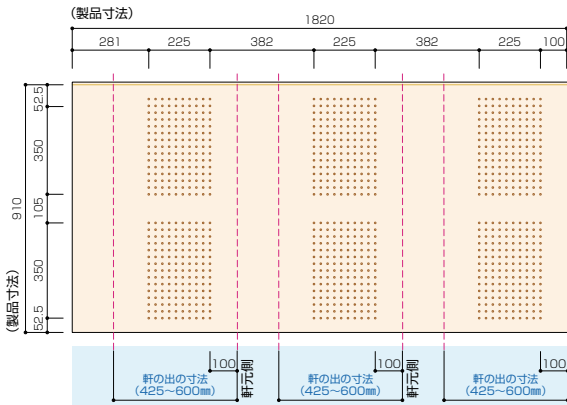
■ 軒天 国土交通大臣認定番号・物性表

項 目			軒天12		軒天14	軒天18	軒天5	備考	
			トリスタ	—					
基材名称			繊維混入スラグせっこう板	パルプ繊維混入セメント板			化粧スラグせっこう板		
認定番号	不燃材料番号		NM-3899	NM-3010 (有孔板除く)	NM-3011 (有孔板除く)	NM-3011	—		
	軒裏1時間 準耐火構造	無孔板	—	—	—	QF060RS-9121	—		
	軒裏45分 準耐火構造	無孔板	—	—	QF045RS-9122	※1	—		
		無孔板+軒天通気見切縁	—	—	QF045RS-0053	—	—		
	軒裏30分 準耐火構造 (防火構造)	無孔板	QF030RS-0250	QF030RS-0154	※2	※1	—		
		無孔板+軒天換気金物	KBM1	—	QF030RS-0157	—	—	—	
		無孔板+軒天通気見切縁	KBM2N	QF030RS-0240	QF030RS-0156	※3	—	—	
			BM3(※)	QF030RS-0348-1	—	—	—	—	
		防火有孔板	—	—	QF030RS-0155	—	—	—	
	物性	比重(絶乾)		0.90	※4	※5	0.97	1.00	平均値
含水率		20%以下					JIS A 5422に準ずる		
曲げ破壊荷重(N)		—	690以上	785以上		—	JIS A 1408(3号試験体)		
曲げ強度		7.5N/mm以上	—	—	—	10.5N/mm以上	JIS A 1408(3号試験体)		
耐透水性		10mm以下					自社測定法		
対応下地工法	鉄骨下地直張り		×						
	鉄骨木下地 		×	△			×		
	木造下地		○						

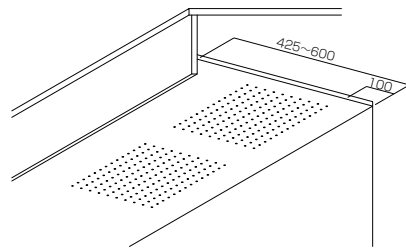
鉄骨木下地での施工には 右記点にご注意ください。	鉄骨下地の寸法について	(軒の出500mm以下の場合) 溝型鋼 60×30×1.6mm以上 (軒の出500mmを越え1000mm以下の場合) リップ溝型鋼 60×30×10×2.3mm以上 ※軒天は木下地を施工後、専用釘で留め付けます。	*「BM3」は日本化学産業株式会社の商品です。 ※1「QF060RS-9121」で対応可能です。 ※2「QF045RS-9122」で対応可能です。 ※3「QF045RS-0053」で対応可能です。 ※4「エンボス調以外 1.07」「エンボス調 0.95」 ※5「YLA200以外 0.97」「YLA200 1.05」
	鉄骨木下地に対応している 認定番号について	(軒天14) QF045RS-9122 (軒天18) QF060RS-9121	

■ 防火有孔板の切断について

- 下図のように孔の位置が軒元側の板端より100mm以上となるように切断してください。
- 長手方向への切断は行わないでください。(切断が必要な位置には無孔板を使用してください)



有効換気面積
10列×15行×2=84.7cm²×3カ所



建築用鋼製下地(LGS天井下地)への
施工ができるようになりました。

※軒天12 木目調 無孔板 (YL141P / YL142P / YL143P)、軒天12 シダーグレイ 無孔板 (YL161/YL162/YL163) のみ対応。
※鋼製下地での準耐火構造認定は取得していません。
※施工条件・施工方法など詳細については最寄りの弊社営業所までお問い合わせください。

■ 軒天の施工要領一覧 (木造下地のみ。)

防耐火性能	軒天の種類 ※6		構造認定番号	材料認定番号	軒裏の構造	軒の出 対応寸法 (mm) ※7	野縁の施工 ※8、※9			軒天の留付け		軒元 納まり	軒裏 勾配		
	組み方	サイズ					野縁の間隔 (mm)	留付け材 釘 (mm)	留付間隔 (mm) ※11						
		軒の出 500mm以下								軒の出 500mm以上					
30分 準耐火 構造	軒天12 トリスタ	無孔板	QF030RS-0250	NM-3899	木造 (木下地)	83(58)～ 1820以下※12 ()は軒勝ち	平行	木製40×30以上		500以下	φ2.5×45	出方向：225以下 幅方向：225以下	軒勝ち・ 壁勝ち	水平・ 勾配	
		無孔板+ 軒天通気見切縁 BM3	QF030RS-0348-1			88(63)～ 1820以下※12 ()は軒勝ち	平行			500以下		出方向：500以下 幅方向：225以下			
		無孔板+ 軒天通気見切縁 KBM2N	QF030RS-0240	—		113(88)～ 1820以下※12 ()は軒勝ち	梯子 (格子)	木製30×40以上	出方向：500以下 幅方向：455以下	出方向：225以下 幅方向：225以下		軒勝ち ※10			
	軒天12	無孔板	QF030RS-0154	NM-3010	木造 (木下地)	1000以下	平行	木製30×40以上		500以下	φ2.3×38	出方向：225以下 幅方向：225以下	軒勝ち・ 壁勝ち	水平・ 勾配	
		防火有孔板	QF030RS-0155	—		1000以下 ※13	梯子 (格子)			出方向：500以下 幅方向：455以下		出方向：150以下 幅方向：150以下			
		無孔板+ 軒天通気見切縁 KBM2N	QF030RS-0156	NM-3010		1000以下	梯子 (格子)			出方向：500以下 幅方向：455以下		出方向：225以下 幅方向：225以下	軒勝ち		
		無孔板+ 軒天換気金物 KBM1	QF030RS-0157										軒勝ち・ 壁勝ち		
	45分 準耐火 構造	軒天14	無孔板	QF045RS-9122	NM-3011	木造 (木下地)	1000以下	平行	木製30×40 以上	木製35×40 以上	500以下	φ2.5×43	出方向：225以下 幅方向：225以下	軒勝ち・ 壁勝ち	水平 勾配
			鉄骨造 (鉄骨下地+ 木下地)	梯子		溝型鋼60×30× 1.6以上+ 木製30×40以上		リップ溝型鋼60× 30×10×2.3以上+ 木製35×40以上	出方向：軒先・軒元 幅方向：455以下	出方向：200以下 幅方向：225以下	軒勝ち				
			無孔板+ 軒天通気見切縁	QF045RS-0053	木造 (木下地)	1000以下	梯子	木製30×40以上		出方向：軒先・軒元 幅方向：455以下	出方向：225以下 幅方向：225以下	軒勝ち			
1時間 準耐火 構造	軒天18	無孔板	QF060RS-9121	NM-3011	木造 (木下地)	1000以下	梯子	木製30×40 以上	木製35×40 以上	出方向：軒先・軒元 幅方向：455以下	φ2.75×50	出方向：225以下 幅方向：225以下	軒勝ち・ 壁勝ち	水平・ 勾配	
—	軒天12	有孔板	—	—	施工要領は、軒天12無孔板・軒天14無孔板に各々準じる（軒の出対応寸法を除く）								軒勝ち・ 壁勝ち	水平・ 勾配	
	軒天14	有孔板													
	軒天5	有孔板			木造 (木下地)	—	梯子	木製30×40以上		出方向：500以下 幅方向：303以下	φ1.9×32	出方向：200以下 幅方向：225以下			

施工要領の詳細は、最新の設計施工資料集モエン標準施工編をご確認ください。

※6 全面有孔板 軒天5は材料認定および構造認定を取得しておりません。 ※7 軒の出とは外壁表面から破風下地先端までをいいます。 ※8 軒の出500mmを超える場合は吊り木が必要。
※9 軒天の左右接合部は野縁2本組とします。 ※10 軒天通気見切縁 (KBM2N) が軒先に施工された場合は、壁勝ちも施工可です。
※11 野縁が梯子組と平行組の両方がある場合、代表として梯子組の留め付け方法を記載しております。平行組については、設計施工資料集をご確認ください。
※12 認定は最大寸法で取得していますが、商品寸法により上限値は1820mmとなります。
※13 軒の出は1000mm以下ですが、軒天600mmを超える場合は製品上1枚で1カ所となります。軒天425mm未満は不可。

■ 軒天 建築用途と防耐火基準

用途	地域	階数	延床面積＝S (㎡)	防火規制	適合商品
共同住宅	防火地域 (法61条)	1 階建・2 階建	$S \leq 100$	軒裏45分準耐火構造 ※14	軒天14 / 軒天18 ※18
	準防火地域 (法62条)	3 階建	$S \leq 1500$	軒裏1時間準耐火構造	軒天18
		1 階建・2 階建	$S \leq 500$	軒裏防火構造	軒天12 / 軒天14 / 軒天18 ※18
			$500 < S \leq 1500$	軒裏45分準耐火構造 ※14	軒天14 / 軒天18 ※18
	法22条区域	3 階建	$S \leq 3000$	軒裏1時間準耐火構造 *各種条件をみたさないものは耐火構造となります	軒天18
		1 階建・2 階建 (2階 300㎡以上)	$100 < S \leq 3000$	軒裏45分準耐火構造 ※14	軒天14 / 軒天18 ※18
		1 階建・2 階建 (2階 300㎡未満)	$1000 < S \leq 3000$	軒裏防火構造	軒天12 / 軒天14 / 軒天18 ※18
		1 階建・2 階建 (2階 300㎡未満)	$S \leq 3000$	軒裏については規制なし	軒天「全商品」
戸建住宅	防火地域 (法61条)	1 階建・2 階建	$S \leq 100$	軒裏45分準耐火構造 ※14	軒天14 / 軒天18 ※18
	準防火地域 (法62条)	3 階建	$S \leq 500$	軒裏防火構造 (準防3 階建て仕様) ※17	軒天12 / 軒天14 / 軒天18 ※18
			$500 < S \leq 1500$	軒裏45分準耐火構造 ※14	軒天14 / 軒天18 ※18
		1 階建・2 階建	$S \leq 500$	軒裏防火構造	軒天12 / 軒天14 / 軒天18 ※18
			$500 < S \leq 1500$	軒裏45分準耐火構造 ※14	軒天14 / 軒天18 ※18
	法22条区域	3 階建 (大規模建築物：木造) ※15	$S \leq 3000$	軒裏1時間準耐火構造	軒天18
		3 階建	$S \leq 1000$	軒裏については規制なし	軒天「全商品」
			$1000 < S \leq 3000$	軒裏防火構造 ※16	軒天12 / 軒天14 / 軒天18 ※18
		1 階建・2 階建	$S \leq 1000$	軒裏については規制なし	軒天「全商品」
$1000 < S \leq 3000$	軒裏防火構造 ※16	軒天12 / 軒天14 / 軒天18 ※18			

※14 準耐火建築物のイ準耐・ロ準耐に適合する構造とすることもできます。 ※15 大規模建築物の木造3階建の基準とした場合、高さ制限はありません。(法21条一項ただし書きより)
※16 高さ>16m、かつ階高>3階を超えるものは特殊な場合を除き、大規模建築物の制限を受け、外壁は耐火性能を有するものとなります。
※17 「※15の防火構造」以外の1時間準耐火構造、45分準耐火構造、防火構造、準防火性能とあるのは、建築の延長のおそれのある部分の要求性能です。 ※18 全面有孔板は除く。
※ 詳しくは最新の「設計施工資料集・モエン標準施工編」をご参照ください。